

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成22年11月1日（月）～11月7日（日）〔平成22年第44週〕の感染症発生状況

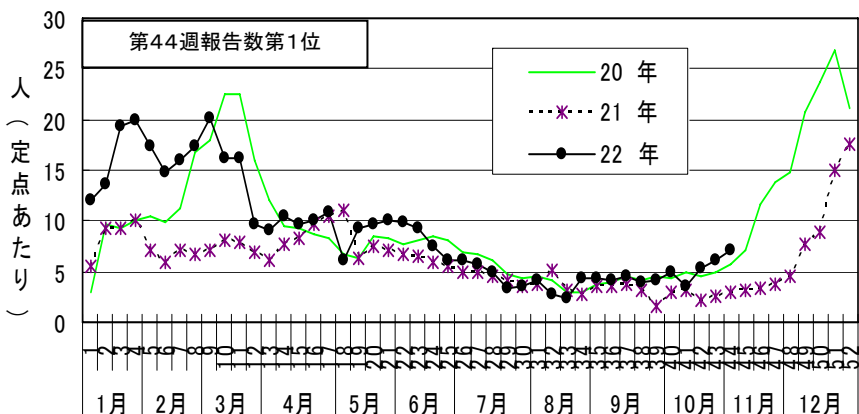
第44週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)水痘 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎は定点あたり7.12人と前週（6.21人）より患者報告数は増加しました。

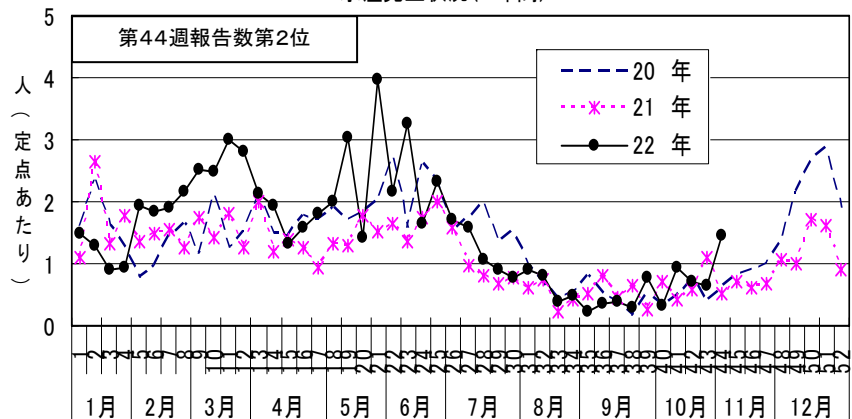
水痘は定点あたり1.45人と前週（0.64人）より患者報告数は増加しました。これは、平成11年以降の同時期と比較すると、最も多い報告数となっております。特に多摩区で報告が多く、定点あたり4.80人と流行発生注意報基準値（定点あたり4人）を超えておりますので注意が必要です。

A型肝炎の届出が1件（推定感染経路：経口感染、推定感染地域：インド）ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



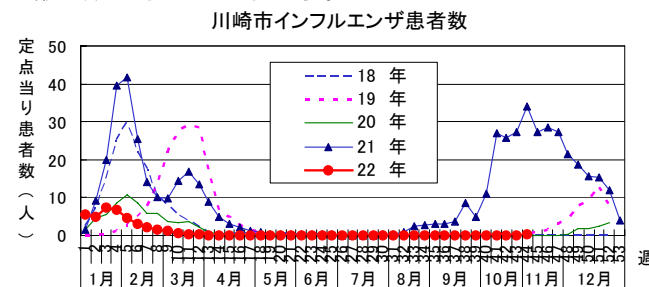
水痘発生状況(3年間)



## ご存知ですか!? 『咳エチケット』のこと

川崎市の第44週のインフルエンザ患者数は10名で、平成11年以降の同時期と比較すると、平成21年及び平成19年に次いで3番目に多い報告数となっております。

インフルエンザはインフルエンザウイルスによっておこる病気で、「普通のかぜ」との違いは、突然の38℃以上の発熱、悪寒、筋肉痛、全身の倦怠感などの全身症状が強く、症状が重いところにあります。インフルエンザは患者の咳やくしゃみなどのしぶきの吸引や接触によって感染します。右のグラフのとおり、これからインフルエンザが流行する時期に入りますので、特に多くの人が集まる場所では、咳やくしゃみが出る時に、他人に感染させないための『咳エチケット』を徹底する必要があります。咳エチケットの方法をご紹介しますので、日常的に実践するよう心がけましょう。



### 咳エチケットを実践しよう!!

- 咳やくしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻をおおい、他の人から顔をそむけ、できる限り1～2メートル以上離れましょう。ティッシュがない場合は、口を腕でおさえて、極力、飛沫が飛び散らないようにしましょう。手でなく腕で押さえるのは、他の場所に触れることが少ないため、接触感染の機会を減らすことができます。
- 呼吸器系分泌物（鼻汁・痰など）を含んだティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳やくしゃみをする際に押さえた腕や手は、その後直ちに洗いますが、接触感染の原因にならないよう、手を洗う前に不必要に周囲に触れないよう注意しましょう。手を洗う場所がないことに備えて、携行できる速乾性擦式消毒用アルコール製剤あるいはパック入りのアルコール綿などを用意しておくといいでしょう。
- 咳をしている人にマスクの着用を積極的にすすめましょう。マスクを適切に着用することによって、飛沫の拡散を防ぐことができます。

